日田市

平成27年度（2015年）
日田市埋蔵文化財年報

発行日　平成28年6月30日
編集　日田市教育庁文化財保護課
発行　日田市教育委員会
〒877-8601
大分県日田市田島2-6-1
TEL　0973-23-3111
印刷　株式会社インデバイス
〒877-0076
大分県日田市亀川町848-1

PRINTED WITH SOY INK
再生紙を使用しています。また、自然保護のために大豆インキを使用しております。

平成27年度　日田市埋蔵文化財年報

平成27年度（2015年度）

日田市埋蔵文化財年報

日田市教育委員会

2016　日田市教育委員会

発刊にあたって

平成 27 年度に実施した事業では、史跡の整備や埋蔵文化財センターの移転などを行いました。史跡では、国史跡『廣瀬淡窓旧宅及び墓』の修理基本計画策定に向けた調査や耐震診断などを行い、国史跡『咸宜園跡』では整備報告書の作成と西塾用地公有化に向けた取り組みを行いました。そのほか、埋蔵文化財センターは平成 14 年度より 14 年間利用した場所から、施設の老朽化に伴い移転を行いました。

また、民間開発に伴う埋蔵文化財調査も数多く実施し、上井手遺跡で縄文時代後期の大量の遺物群、手崎遺跡や一丁田遺跡では弥生時代から古代の集落跡、柳ノ本遺跡で弥生時代から古墳時代の墳墓群や集落跡、日田条里遺跡飛矢地区では古代の溝跡など新たな発見が相次ぎました。さらに、小迫辻原遺跡では重要遺跡の確認調査を実施し、環濠の検出など貴重な成果を得ることができました。

このように多数の事業を実施するなかで、1 年間日田市の埋蔵文化財調査及び普及・啓発に多大なるご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

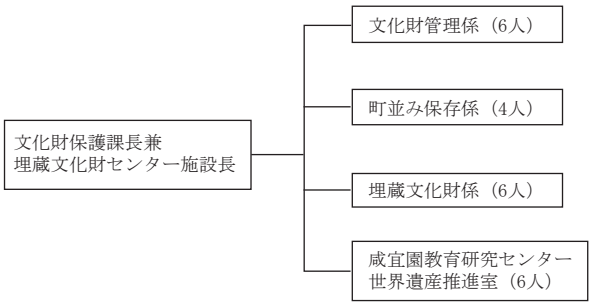
平成 28 年 6 月　　日田市教育庁文化財保護課長　　池田　寿生

例　　言

1. 本書は、平成 27 年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターに保管・展示している。
3. 表紙写真は日田条里遺跡飛矢地区 2 次調査の写真（本文 11P 参照）、裏表紙は上井手遺跡 4 次調査の写真である（本文 12P 参照）。
4. 本書の執筆は Ⅰ -(1)、Ⅲを若杉、Ⅰ -(2) を各担当、Ⅱ (1) ～ (3)、(5) を渡邉、Ⅱ (4) を行時、Ⅱ (6) を上原が行った。Ⅰ -(2) には文責を末尾に記している。
5. 編集は、各担当の協力の下、渡邉が行った。

組　　織

平成 27 年度の日田市教育庁文化財保護課の構成及び埋蔵文化財係の組織は以下の通りである。　（平成 28 年 3 月現在）



《埋蔵文化財係》

埋蔵文化財係主幹兼総括　園田恭一郎（～ 9 月）：総括
〃　古賀　信一（10 月～）：総括
主　査　行時　桂子：民間開発担当
主　査　若杉　竜太：事前審査・公共事業（史跡整備）担当
主　査　渡邉　隆行：史跡整備・保存修理事業担当
主　任　上原　翔平：埋蔵文化財補助事業担当
主　任　諫山　温子：普及啓発担当

目　　次

発刊にあたって
Ⅰ　平成 27 年度の埋蔵文化財調査事業
（1）平成 27 年度の埋蔵文化財調査の概要　・・・ 1
（2）発掘調査・確認調査の概要　・・・・・・・・ 6
Ⅱ　平成 27 年度の埋蔵文化財普及・啓発事業
（1）埋蔵文化財センター運営事業　・・・・・・ 14
（2）普及啓発事業　・・・・・・・・・・・・・・ 15
（3）埋蔵文化財の保存整備　・・・・・・・・・・ 16
（4）新指定の文化財（埋蔵文化財関係）・・・・ 17
（5）埋蔵文化財センターの移転　・・・・・・・ 18
（6）その他（資料掲載、貸出・閲覧・受領図書） 19
Ⅲ資料紹介
（1）長迫遺跡Ｃ地点の石製品　・・・・・・・・ 21

Ⅰ　平成 27 年度の埋蔵文化財調査事業

（1）平成 27 年度の埋蔵文化財調査の概要

平成 27 年度の発掘調査等の動向（表 1 ～ 5）

平成 27 年度の発掘調査は 7 件実施し、民間開発関連 6 件、重要遺跡確認調査が 1 件であった。民間開発は宅地造成に先立つもの 2 件、店舗建設、福祉施設建設、病院兼個人住宅建設、個人住宅の修理に先立つものが各 1 件であった。

民間開発・公共事業に伴い提出された埋蔵文化財の所在の有無についての事前照会は、計 110 件（民間開発 68 件（既照会分の内容変更 3 件含む）、市公共事業 42 件（前年度照会分の対象地変更に伴う再提出 1 件含む）であった（表 5）。

事前審査の照会件数のうち、民間開発に伴うものは 65 件と、前年度に比較して 27 件減少した。また、開発及び不動産鑑定等にかかる照会文書提出前の事前問合せ件数は 191 件と前年度（239 件）に比べて大幅に減少している。なお、この事前問合せ後、照会文書を提出したのは、16 件であった。

公共事業に伴う事前照会件数は 42 件と前年度の 49 件より若干減少した。道路関係（市道改良や林道開設）が最も多く、次いで小学校廃校や学生寮閉鎖に伴う跡地利用、下水道関係、防火水槽設置が数件ずつあり、例年と同様の傾向が見られた。

民間開発については、例年と同じく、個人住宅が 22 件と最も多く、次いで宅地分譲地造成が 9 件であった。近年増加傾向にあった、太陽光発電施設関連や大規模小売店舗、医療施設・福祉施設に関するものは減少したものの、今後も一定数は照会が提出されるものと思われる。

なお、これらの事前照会を受けて実施した試掘・確認調査、工事立会は、15 件（民間開発試掘・確認 10 件・民間開発立会 1 件、市公共事業 2 件、市公共事業立会 2 件）であり、これも前年度により減少した。（表 1）。

平成 27 年度の発掘調査の内容（表３）

平成 27 年度の発掘調査は 7 件実施し、旧石器時代と中世を除く、各時代の遺構や遺物が確認されている。

縄文時代の調査では、上井手遺跡において、縄文時代後期から晩期の自然流路もしくは竪穴建物と思われる遺構から、縄文土器や石器が大量に出土した。

弥生時代では、一丁田遺跡で後期の竪穴建物や土坑が確認された。柳ノ本遺跡では後期の石棺墓・小児用甕棺墓や中期の竪穴建物が発見されている。このほか、手崎遺跡で後期の竪穴建物や土坑が調査されている。

小迫辻原遺跡の確認調査では、昨年度までに確認されていた、１・３号環濠の延長部分や台地端部を巡る溝状遺構の延長を把握することができた。

古墳時代では柳ノ本遺跡で集落が確認されている。また、一丁田遺跡で中期の竪穴建物が調査されている。このほか、日田条里遺跡飛矢地区で遺構は確認されていないものの、須恵器等が出土している。

古代では、柳ノ本遺跡において竪穴建物、日田条里遺跡飛矢地区において、公的施設の可能性が高い８世紀前半～中頃の溝・竪穴建物・掘立柱建物、手崎遺跡では８世紀代の竪穴建物が発見された。

近世は、城下町遺跡において国指定重要文化財・草野家住宅の保存修理工事に伴い、解体後の建物基礎等の調査を実施した。

表 1　埋蔵文化財の調査件数と調査面積の推移

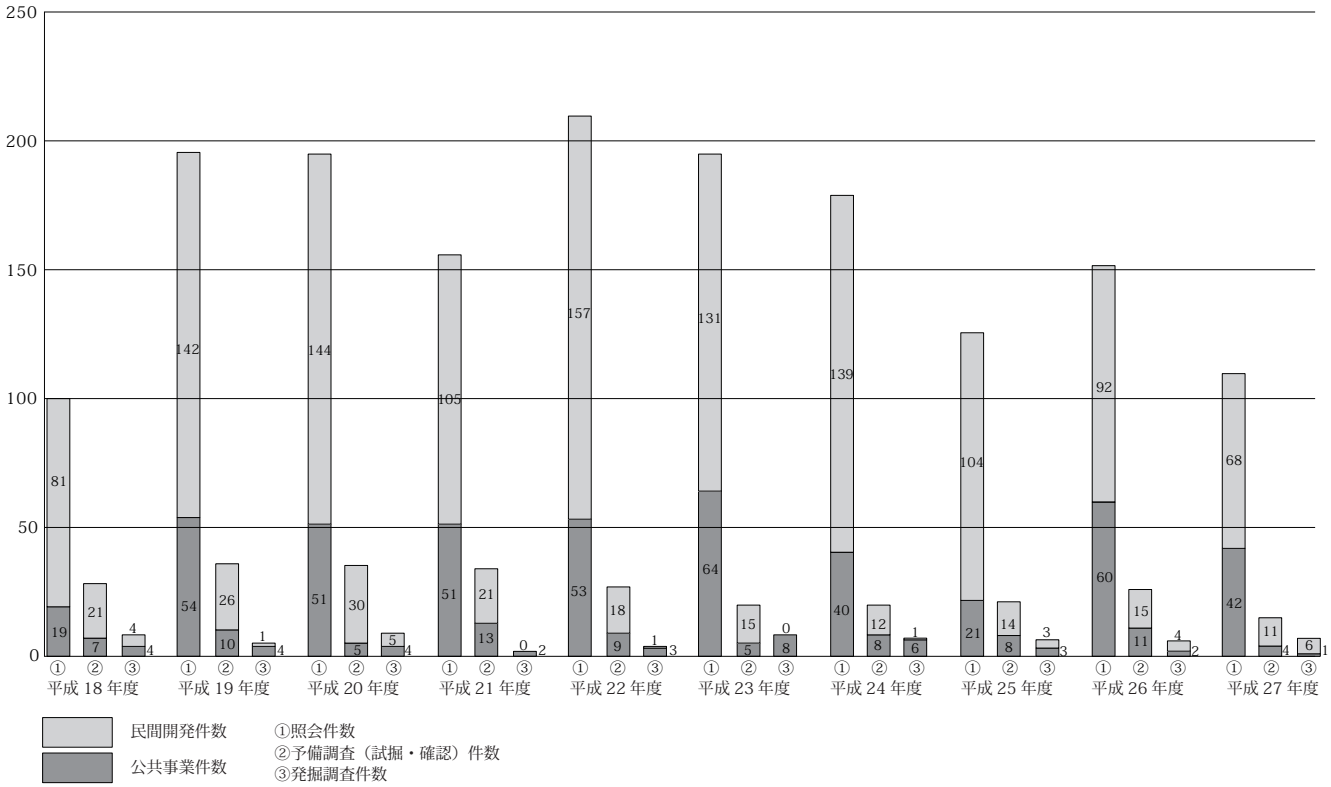
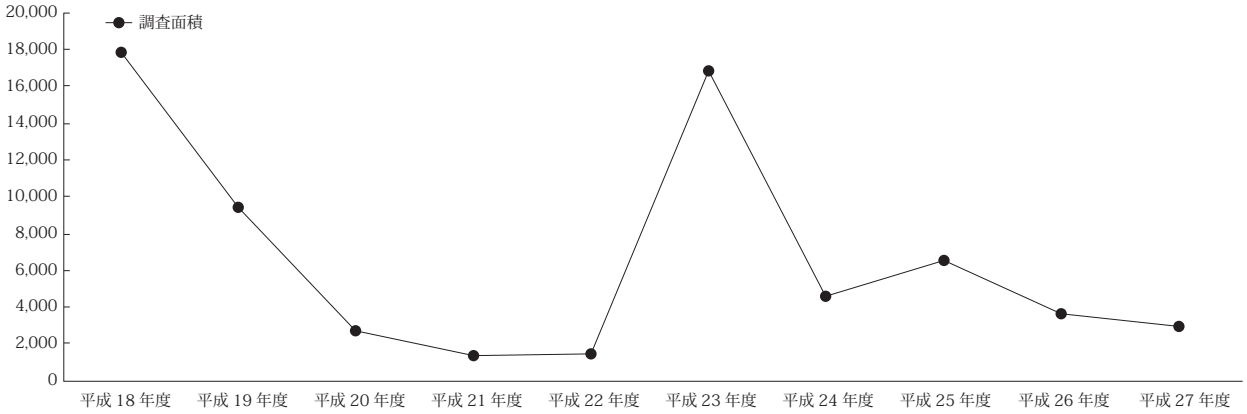


表 2　調査面積・調査担当者推移



	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
調査面積	17,836	9,407	2,654	1,292	1,392	16,837	4,583	6,496	3,578	2,894
専門職員数	5	5	5	5	6	5	5	4	4	4
嘱託職員数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

表 3　平成 27 年度発掘調査一覧表

面積単位：㎡

番号	調　査　名	所　在　地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備　考
1	小迫辻原遺跡 J7,G7,8 区	大字小迫	公共	遺跡内容確認	-	1,015	0204 ～ 0329	国庫	上原	
2	手崎遺跡 3 次	大字高瀬字手崎	民間	病院兼個人住宅	2,253	226	0603 ～ 0702	原因者 国庫	上原	
3	一丁田遺跡 3 次	丸の内町	民間	宅地造成	2,774	315	0616 ～ 0731	原因者	若杉	
4	柳ノ本遺跡 2 次	大字田島字中ノ手	民間	福祉施設建設	540	504	0708 ～ 0904	原因者	上原	
5	日田条里遺跡飛矢地区 2 次	田島 2 丁目	民間	店舗建設	1,237	488	0709 ～ 0918	原因者	行時	
6	上井手遺跡 4 次	大字日高字取所	民間	宅地造成	2,543	272	0901 ～ 1020	原因者	若杉	
7	城下町遺跡	大字豆田	民間	個人住宅（重文建物）修理	1,599	13	1002 ～ 1007	国庫	行時・渡邉	
						61	1201 ～ 1216		若杉	

表 4　平成 27 年度確認・立会調査一覧

面積単位：㎡

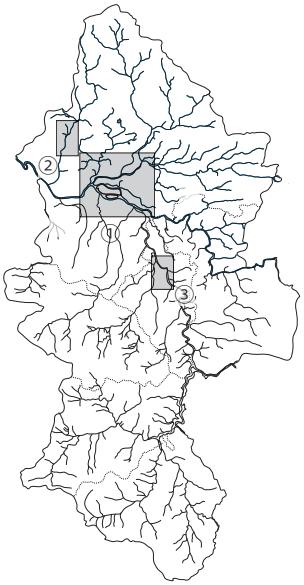
番号	遺　跡　名	区分	調査場所	事業目的	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	時代	遺構	遺物	申請番号	処置
8	上井手遺跡	民間	大字日高字取所 816-1 ほか 2 筆	宅地造成	2,543	46	4/24	確認	縄文	流路	縄文土器	2014092	本調査
9	柳ノ本遺跡	民間	大字竹田字柳ノ本 645-3 ほか	福祉施設建設	454	58	5/27 ～ 5/29	確認	弥生～古代	墓・建物・土坑・ピット等	弥生土器・土師器・須恵器	2014085	本調査
10	城下町遺跡	民間	川原町 694-2	事務所建設	663	14	6/15	確認	近世以降	なし	陶磁器	2015008	工事実施
11	日田条里遺跡	民間	大字十二町字花ノ木 526-11 ほか	宅地造成	2,941	48	6/4	確認	弥生ほか	なし	弥生土器	2014091	工事実施
12	岳林寺遺跡	民間	大字友田字寺ノ前 1356-1	広告塔建設	5	4	7/2	立会	近世以降	なし	陶磁器	2015016	工事実施
13	日田条里遺跡	民間	大字西有田字石ヶ坪 107-7 ほか 3 筆	宅地造成	1,536	55	8/6	確認	-	なし	なし	2015017	工事実施
14	村前遺跡	民間	大字庄手字村前 229	宅地造成	1,319	22	9/17	確認	中世	水田層	土師質土器	2015027	工事実施
15	入龍遺跡隣接地	民間	竹田新町 630-1 ほか 2 筆	園舎改築工事	1,679	45	10/8,10/9	試掘	-	自然流路	なし	2015033	工事実施
16	永山城跡	公共	丸山 2 丁目 2 番 1 号	公園整備	3,000	9	10/26	立会	-	なし	なし	2014608	工事実施
17	大肥遺跡	公共	大字大肥 2244-2	防火水槽設置	91	9.6	11/25	確認	-	なし	なし	2015617	工事実施
18	中川原遺跡	公共	大山町西大山字年出 3494-1	水道修理工事	10	7.0	12/24	立会	-	なし	なし	2015638	工事実施
19	日田条里遺跡	民間	大字十二町字本村 625-3	宅地造成	1,377	24	2/4	確認	-	なし	なし	2015052	工事実施
20	日田条里遺跡	民間	大字十二町字前田 606	宅地造成	1,769	29	2/5	確認	中世	なし	土師質土器	2015053	工事実施
21	日田条里遺跡	民間	大字西有田字妹町 212-1 の一部ほか 7 筆	宅地造成	5,496	164	3/15 ～ 3/17	確認	-	なし	なし	2015059	工事実施
22	中川原遺跡	公共	大山町西大山字年出 3494-1	大山振興局移設改修	5,049	86	3/8 ～ 3/11	確認	-	ピット	なし	2014042	工事実施

表 5　照会一覧表

面積単位：㎡

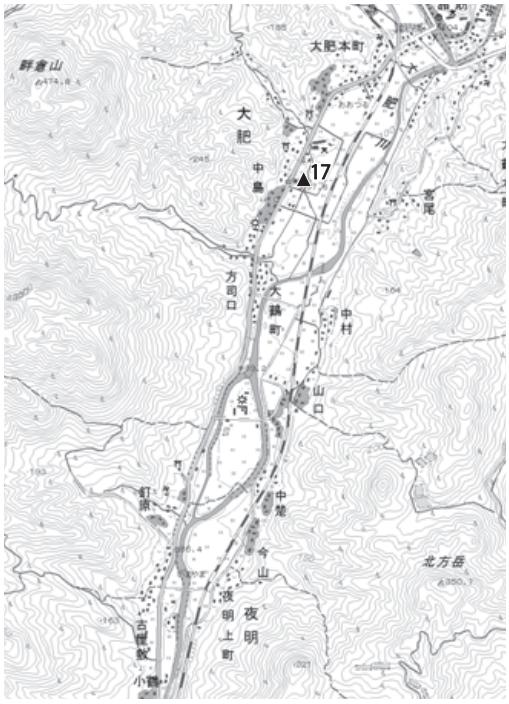
申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	周知遺跡名	判断結果
4/10	2015001	民間	個人住宅建設	大字東有田字片山 2302 番地	458.83	-	工事実施
4/10	2015002	民間	店舗建設	大字友田字寺ノ前 1356-1	2122.05	岳林寺	工事実施
4/13	2015003	民間	個人住宅建設	大字渡里字島ノ本 1051-6	166.06	-	工事実施
5/7	2014069-2	民間	老人福祉施設建設	大字日高字岩崎 584 番地	1563.00	上井手	工事実施
5/14	2015004	民間	個人住宅建設	大字十二町字小北 419 番地 3、419 番地 1	258.12	郷四郎	工事実施
5/14	2015005	民間	個人住宅建設	上城内町 1032-11	286.51	慈眼山	工事実施
5/19	2015006	民間	店舗建設	大字三和字桑原 791 番 22	28.99	-	工事実施
5/21	2015007	民間	アパート建設	大字十二町字岸高 581 番 1	1103.83	-	工事実施
8/21	2015007-2	民間	アパート建設	大字十二町字岸高 581 番 1	1110.25	-	工事実施
5/19	2015008	民間	事務所建設	川原町 694 番 2	662.94	城下町	H27 予備調査
5/22	2015009	民間	倉庫建設	大字友田字大縄手 7 番 20 号	674.97	日田条里	工事実施
5/26	2014070-2	民間	倉庫建設	上城内町 914-5 ほか 3 筆	321.07	慈眼山	工事実施
5/27	2015010	民間	農業倉庫新築	大字日高字上井手 1451-1、1451-2	182.50	-	工事実施
6/3	2015011	民間	農業倉庫新築	大字有田字財津畑 1102 番 1	671.61	尾漕	工事実施
6/4	2015012	民間	個人住宅・店舗建設	大字田島 490-1、490-3 の一部、490-4	587.75	会所宮	工事実施
6/8	2015013	民間	個人住宅建設	三芳小渕町 24 番、25 番	277.39	上井手	工事実施
6/15	2015014	民間	社屋増築	三芳小渕町 151 ほか 5 筆	150.37	-	工事実施
6/19	2015015	民間	資材置場造成	天瀬町馬原桑ノ元 1746	2329.00	-	工事実施
6/22	2015016	民間	広告塔建設	大字友田字寺ノ前 1356-1	5.00	岳林寺	工事立会
6/26	2015017	民間	宅地造成	大字西有田字石ヶ坪 107 番 7 ほか 3 筆	1536.29	日田条里	H27 予備調査
6/26	2015018	民間	選別機上屋新築	大字東有田字新山 2813 番 20	60.00	片山原	工事実施
6/29	2015019	民間	個人住宅建設	大字西有田坂井 464-1、493-3	342.46	峰崎	工事実施
7/3	2015020	民間	宅地造成	大字十二町字花ノ木 528 番ほか	1986.55	日田条里	工事実施
7/3	2015021	民間	個人住宅建設	大字庄手字堀の上 256-1	366.69	-	工事実施
7/13	2015022	民間	個人住宅建設	田島 1 丁目 543 番 2	139.11	-	工事実施
7/14	2015023	民間	自治会公民館用地造成	大字西有田字上梅町 527 番 1	736.00	峰崎	工事実施
7/15	2015024	民間	個人住宅建設	大字西有田字上手 48 番 1	122.74	日田条里	工事実施
7/17	2015025	民間	自治会公民館建設	大字大肥 1212 番地	82.81	大肥	工事実施
8/6	2015026	民間	風力発電所建設	上津江町上野田（尾ノ岳国有林）	8355.00	尾ノ嶽	内容により予備調査
8/18	2015027	民間	宅地造成	大字庄手字村前 229 番	1318.64	村前	H27 予備調査
8/18	2015028	民間	事務所建設用地造成	天瀬町合田字神ノ釣 3109 番 12・3128 番 5	5818.79	-	工事実施
8/24	2015029	民間	アパート建設	大字十二町字水町 654-8	349.33	日田条里	工事実施
8/25	2015601	公共	総合体育館練習場増築工事	大字求来里 45-1 外 38 筆	32.71	-	工事実施
8/28	2015030	民間	宅地造成	大字三和字太木 2553 番 1、2555 番 2	1638.00	-	工事実施
9/8	2015602	公共	こども園整備	大山町西大山 3501 番地 1 外	2,080	中川原	H27 予備調査
9/9	2015603	公共	倉庫整備	田島 2 丁目 228-2・201-14	323.23	日田条里 (飛矢地区)	H28 予備調査
9/3	2015031	民間	個人住宅増築	城町 1 丁目 390 番 5	70.48	-	工事実施
9/17	2015032	民間	ガレージ・駐輪場新築	川原町 694 番 2	39.69	城下町	工事実施
9/9	2015033	民間	園舎改築	竹田新町 630-1、629-7、628-1	1678.52	入龍	工事実施

申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	周知遺跡名	判断結果
9/18	2015034	民間	個人住宅（重文建物）修理工事	豆田町 127	1600.00	城下町	H27 発掘調査
9/29	2015035	民間	個人住宅建設	大字三和字長迫 752-1	358.05	三和教田	工事実施
10/5	2015036	民間	車庫建設	大字求来里字室 1749-1	136.25	求来里平島	工事実施
10/13	2015037	民間	個人住宅建設	田島 2 丁目 93 番 17	235.95	日田条里	工事実施
10/16	2015038	民間	薬局新築	南元町 6-41	53.07	入龍	工事実施
10/16	2015039	民間	個人住宅建設	城町 2 丁目 927 番 13	270.00	慈眼山	工事実施
10/19	2015040	民間	事務所新築	大字三和字壱町田 648 番 3	134.49	-	工事実施
10/19	2015041	民間	個人住宅建設	大字友田字徳瀬 299-7	140.22	徳瀬	工事実施
10/26	2015042	民間	個人住宅建設	大字渡里字本村 890 番地 1 の一部	150.25	本村	工事実施
10/26	2015604	公共	旧丸山小学校改修工事	天ケ瀬町合田 747 番地 1	6,916	-	工事実施
10/26	2015605	公共	旧出口小学校改修工事	天ケ瀬町出口 1842 番地	12,058	-	工事実施
10/26	2015606	公共	旧花月小学校改修工事	大字花月 1459 番地 1	6,593	堂ノ前	内容により予備調査
10/27	2015616	公共	水道整備事業	大字友田ほか	88.03	三郎丸・三郎丸砦跡・星隈横穴墓	一部工事実施、一部内容により予備調査
10/29	2015607	公共	下水道工事	内河内町 外	1,688	尾園・長者原	工事実施
10/29	2015608	公共	下水道工事	北友田三丁目	40	-	工事実施
10/29	2015609	公共	下水道工事	財津町	534.0	三和教田隣接地	工事実施
10/29	2015610	公共	下水道工事	財津町	534.0	三和教田隣接地	工事実施
10/30	2015043	民間	個人住宅建設	大字有田字赤迫 985 番地 20	244.21	馬形	工事実施
10/30	2015044	民間	店舗建設	大字友田字森ノ木 731 番地 1 ほか 24 筆	13665.96	-	工事実施
11/4	2015611	公共	駅前広場整備事業	元町	5,200	-	工事実施
11/4	2015612	公共	平和通り線改築事業	日ノ出町	9,000	-	工事実施
11/4	2015613	公共	若宮小学校プール改築工事	若宮町 2 番 15 号	731	入龍	内容により予備調査
11/4	2015614	公共	旧前津江中学校解体工事	前津江町大野 2210 番 1	661	山崎隣接地	工事実施
11/4	2015615	公共	旧津江中学校解体工事	中津江村栃野 4363 番 2	1,560	-	工事実施
11/9	2015618	公共	防火水槽設置	大字大肥 2292	91	大肥	工事実施
11/9	2015619	公共	防火水槽設置	坂井町 474 番地 3	26.66	峰崎	H 28 予備調査
11/9	2015620	公共	消防センター建設	前津江町	53.6	-	工事実施
11/9	2015621	公共	林道開設	大字大肥	3,000	-	工事実施
11/9	2015622	公共	林道開設	前津江町柚木	3,000	-	工事実施
11/9	2015623	公共	林道開設	天瀬町出口	3,000	-	工事実施
11/9	2015624	公共	林道開設	中津江村栃野	3,000	-	工事実施
11/9	2015625	公共	林道開設	上津江町川原	3,000	-	工事実施
11/9	2015626	公共	林道開設	上津江町川原	3,000	-	工事実施
11/9	2015627	公共	林道開設	上津江町上野田	3,000	-	工事実施
11/11	2015617	公共	防火水槽設置	大字大肥 2239-1、2244-2、2240	90.00	大肥	H27 予備調査
11/13	2014606-1	公共	スクールバス車庫新築	大山町西大山 3601 ほか	約 200	中大山	工事実施
11/19	2015045	民間	アパート建設	大字十二町字本村 625 番 1 ほか 2 筆	995.00	日田条里	工事実施
11/19	2015628	公共	市道北豆田三郎丸線改良	吹上町	3,000	日田条里	内容により予備調査
11/19	2015629	公共	市道朝日ヶ丘線改良	小迫町	4,800	-	工事実施
11/19	2015630	公共	市道三ノ宮尾当線改良	大字西有田	1,050	-	工事実施
11/19	2015631	公共	市道豆田西有田線改良	城町	2,527	-	工事実施
11/19	2015632	公共	市道坂合線改良	前津江町赤石	900	-	工事実施
11/19	2015633	公共	市道日向野大石峠線改良	大字東有田	150	-	工事実施
11/19	2015634	公共	市道中大山続木線改良	大山町東大山	2,340	-	工事実施
11/19	2015635	公共	市道三ノ宮尾当線改良	尾当町	600	-	工事実施
11/19	2015636	公共	市道上手水目線改良	秋山町	1,100	-	工事実施
11/19	2015637	公共	市道五郎丸白岩線改良	大字大肥	576	-	工事実施
11/20	2015640	公共	レンガ塀修理工事	豆田町 123-1	6.5	城下町	工事実施
11/27	2015046	民間	個人住宅建設	大字十二町字花ノ木 526 番 17	251.89	日田条里	工事実施
11/30	2015047	民間	個人住宅建設	大字上野字小園 467-1	279.00	上野	工事実施
12/2	2015048	民間	貸家新築	大字日高字取所 882-1	138.26	上井手	工事実施
12/2	2015049	民間	店舗用地造成	大字三和字瓦田 2543 番 1	1312.00	-	工事実施
12/2	2015050	民間	倉庫兼個人住宅建築	大字西有田字釣 439-1 の一部	428.51	-	工事実施
12/21	2015051	民間	倉庫建築	大字東有田字新山 1178-12 ほか 2 筆	82.81	長迫	工事実施
1/13	2015052	民間	宅地造成	大字十二町字本村 625 番 3	1377.00	日田条里	H27 予備調査
1/13	2015053	民間	宅地造成	大字十二町字前田 606 番	1769.00	日田条里	H27 予備調査
1/4	2015054	民間	工場増設	大字夜明道ノ内 1465・1469・1470・1471 番 1	6979.00	祝原	工事実施
1/5	2015638	公共	埋設給水管修理工事	大山町大字西大山 3494 番地 1	9.6	中川原	H27 工事立会
1/19	2015055	民間	宅地造成	大字庄手字村前 226 番 1・226 番 2	1271.00	村前	工事実施
1/15	2015056	民間	個人住宅建築	大字高瀬 1789 番地	144.40	陣ヶ原	工事実施
1/20	2015057	民間	農業・畜産施設建設	大字三和字大松山 548 番 1 ほか 3 筆	8889.19	-	工事実施
1/21	2015058	民間	個人住宅建築	大字大肥字寺田 2223-2、2223-4 の一部	432.89	大肥	工事実施
1/26	2015639	公共	有田小学校舎改修工事	大字東有田 2687 番地 1	40	平島	H28 予備調査
1/27	2015059	民間	宅地造成	大字西有田字字妹町 212 番 1 の一部ほか 7 筆	5496.19	日田条里	H27 予備調査
2/2	2015060	民間	製材工場施設造成	大字石井字逆渦 786 番 5 ほか 3 筆	3903.00	-	工事実施
2/3	2015061	民間	車庫棟新築	大字高瀬字手崎 1225-2	26.20	手崎	工事実施
2/3	2015062	民間	位置指定道路建設	大字石井字崩ノ園 439 番 9 ほか	2352.00	-	工事実施
2/15	2015063	民間	工事用道路建設	大山町東大山字池ノ釣 4596 番 1 ほか 10 筆	9598.00	-	工事実施
3/7	2015064	民間	個人住宅増築	大字三和字平ノ下 920 番 3 ほか 3 筆	607.78	三和教田	工事実施
3/8	2015065	民間	個人住宅新築	大字十二町字馬場 155 番 3 の一部、155 番 4	122.55	-	工事実施
3/18	2015641	公共	園路改修工事	丸山 2 丁目 2 番地 1	125.8	永山城跡・月隈横穴群	H27 工事立会

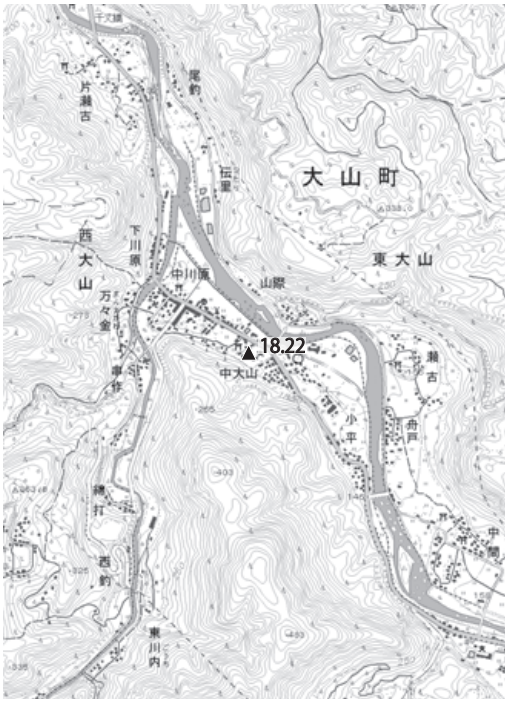


※番号は地図に対応

日田市全域図



大鶴町周辺図②（1/40,000）



大山町周辺図③（1/40,000）

日田市中心市街地図①（1/40,000）

平成 27 年度　発掘調査位置図（図中の番号は表 3・4 に対応する）

（２）発掘調査・確認調査の概要

１．小迫辻原遺跡 J7、G7・8 区　　- 重要遺跡確認に伴う発掘調査 -

５年間の発掘調査計画の４年目として、前年度に確認された１・３号環濠の延長方向、G6・Ｊ７区拡張部分で確認された溝状遺構の延長と２号環濠との切り合い関係の確認を目的に、現状変更計画に基づいて J7 区、G7・8 区の調査を行った。調査面積は 1,015 ㎡を測る。調査は遺構検出に留め、環濠の切り合いや幅の確認など、表面検出では確認が困難な遺構については、トレンチを設定して掘り下げ、層位等の確認を行った。

３号環濠は、昨年度調査 (J7 区) で確認された延長が、Ｇ７区で台地の端部に沿って北に延びているのを確認した。Ｇ１区(平成 2･3 年) の調査で検出されている３号環濠に向かって延びているものと想定される。また、G8 区では G1 区で検出されていた１号環濠の延長も確認することができた。調査区西端で南側に曲がっていくことから、台地の縁を巡るように延びているものと考えられる。

このほか、G7 北区では３号環濠の西側に並行して台地端部に沿って延びる溝状遺構を検出した。

G6・J7 区拡張区で確認された１号溝状遺構は、前年度の拡張部から距離をとって設定した１トレンチの北端、また隣接する形で設定した２トレンチの中央でそれぞれ確認された。1・2 トレンチ間の地形が西側に大きく張り出していることから、１号溝状遺構もこの地形に沿って延びている可能性が高い。また、土層断面からこの溝状遺構は２号環濠を切っていることを確認した。この他には、古墳時代の竪穴建物や弥生時代の貯蔵穴などが G8 区で検出されている。

当初の目的としていた１・３号環濠の延長を確認することができ、前年度からの課題としていた台地端部を巡る１号溝状遺構の延長も確認することができた。また、この溝状遺構は２号環濠よりも新しく、地形に沿って更に西側に延びる可能性があり、３つの環濠とは別に台地を巡る環濠として、小迫辻原遺跡の性格を考える上で貴重な発見と言える。さらに、G7 北区で検出された２号溝状遺構についても延長方向から１号環濠である可能性も考えられる。

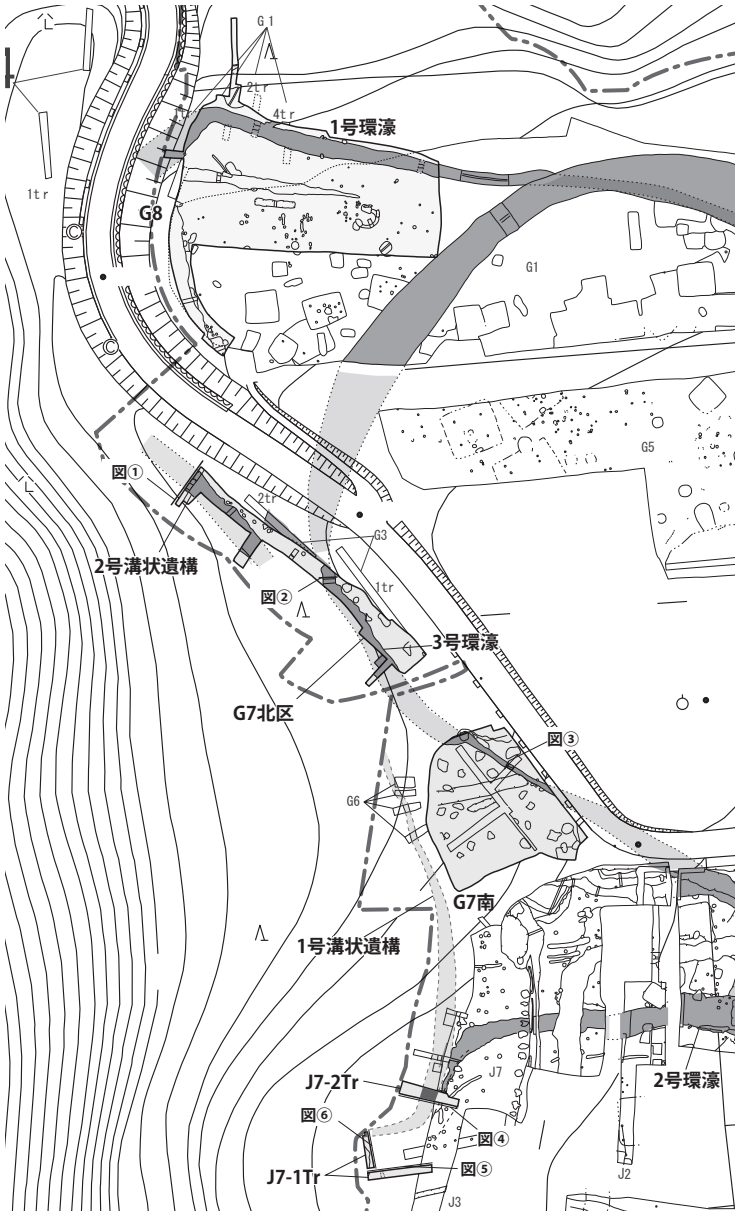
今後は、台地端部を巡る１号溝状遺構の延長方向の確認、G7 北区で確認された２号溝状遺構と１号環濠との関わり、また１・３号環濠内での遺構の広がりなどについて調査を進めていく必要があると考える。（上原）

遺跡位置図（1/10,000）

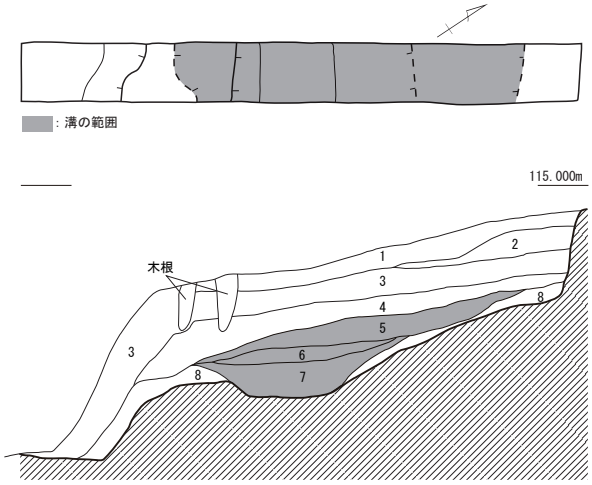
調査区全景（上が西）

G8 区１号環濠（東から）

G7 区南３号環濠（南から）



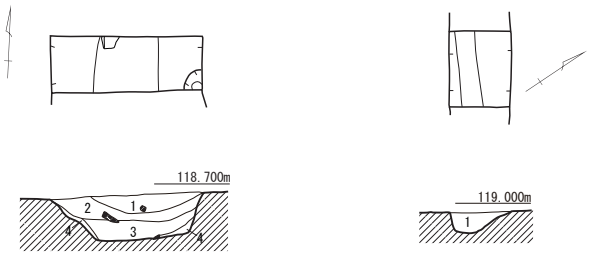
平成27年度調査区範囲（1/1000）



1. 表土
2. 暗褐色土
3. 褐色土
4. 黒褐色土
5. 暗褐色土　（少し黒い）上層
6. 黒褐色土　中層
7. 淡褐色土　最下層　遺物を多く含む
8. 黄褐色砂質土　（地山）

※5～7が溝の埋土

図① G7北区調査区北壁平面・土層図（1/80）



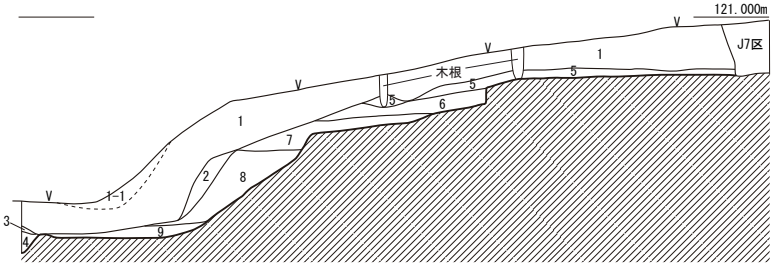
1. 黒褐色土
2. 褐色土　固くしまる。
3. 茶褐色土　砂質
4. 淡黄褐色土差湿度　地山

※1～3が3号環濠の埋土。全体的に遺物の出土が見られるが、比較的に3層からの出土が多い。

1. 暗茶褐色土
※3号環濠埋土

左：図② G7北区 3号環濠平面・土層断面図（1/80）

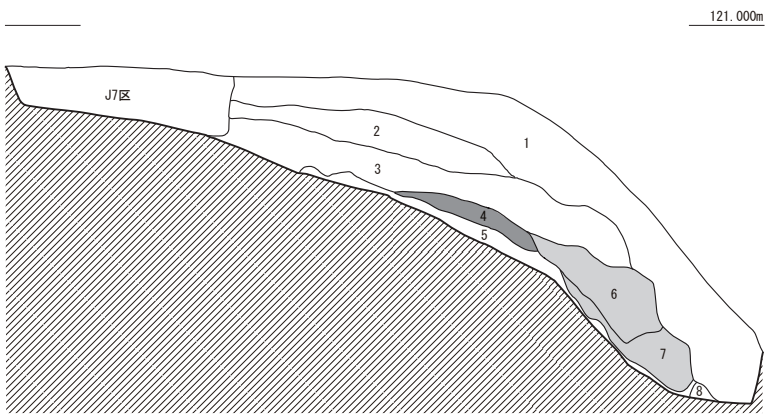
右：図③ G7南区 3号環濠平面・土層断面図（1/80）



1. (暗)茶褐色土　表土
1-1. (暗)茶褐色土　5cm程度の礫が大量に交じる
2. (暗)茶褐色土　表土、8の砂が混じる
3. 茶褐色土砂質土
4. 暗褐色土
5. 黄褐色土
6. 黄褐色土　5よりも少し明るく、小礫が混じる）
7. 茶色砂
8. 茶色砂　暗灰色砂が相互に堆積する）
9. 灰白色色紗砂質土

※5～9が地山。H26年度に検出した台地を巡る溝状遺構は確認できないことからより西側端部を巡るように延びている可能性がある。

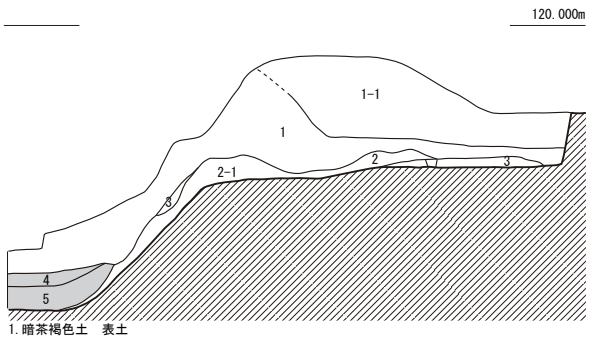
図⑤ J7区1トレンチ北壁層断面図（1/80）



1. 暗茶褐色土　表土
2. 暗褐色土
3. 黒褐色土
4. 暗褐色土　5のブロックが混じる
5. 黄褐色砂質土　地山
6. 暗褐色土
7. 茶褐色土
8. 暗褐色土

※ 4は2号環濠の可能性があり、6・7は前年度に確認した溝状遺構と考えられる。

図④ J7区2トレンチ南壁層断面図（1/80）



1. 暗茶褐色土　表土
1-a. (暗)茶褐色土　5cm程度の礫を多量に含む
2. (淡)黄褐色砂質土　1を含む
2-a. 黄褐色砂
3. 灰白色粘質土
4. 暗灰色粘質土
5. 暗褐色土

※2、3は自然堆積土。4.5は前年度に確認された溝状遺構の可能性がある。

図⑥ J7区1トレンチ東壁層断面図（1/80）

2．手崎遺跡３次　- 病院兼個人住宅建設に伴う発掘調査 -

調査地は、日田盆地南東側の大山川左岸の河岸段丘上、標高約100mに位置する。過去の調査（2次調査：平成12年度）で古墳時代後期の竪穴建物や弥生時代の遺物を含んだ竪穴建物が発見されており、同様の遺構が発見されることが想定されていた。調査区は、1次調査の北側に位置し、2次調査とはほぼ同位置にあり、建物の基礎や地中梁などによって遺跡の破壊される範囲を対象として実施した。その際、基礎と地中梁によって広範囲に破壊される可能性のある東側と独立基礎部分のみに破壊が及ぶ可能性のある西側とで調査方法を区分し、東側は全面調査、西側はグリット調査とした。

調査の結果、地表面より40㎝～50㎝下で暗黄褐色土の地山に竪穴建物2軒、土坑2基、ピットが多数検出された。

1号竪穴建物は東西約4.0m×南北約3.9mのほぼ正方形を呈し、深さは15～20㎝を測る。主柱穴は検出されず、北側壁中央にカマドが敷設されている。2号竪穴建物は、南北4.6mで東側が調査区外へ広がる方形を呈し、深さは40cmを測る。また、南端中央に屋内土坑を有し、北東隅にはベッド状遺構を持ち、主柱穴は東西の2本柱である。

1号土坑は、東西1.0m×南北3.0mの長方形を呈する。深さは、20㎝前後を測る。2号土坑は、1号竪穴建物に切られており、東西4.4m×南北4.0m+αの円形で、深さは約60cmを測る。

遺構の時期は、出土遺物などから1号竪穴建物が8世紀、2号竪穴建物が弥生時代後期と考えられ、土坑については、遺物の出土した2号土坑が弥生時代と想定される。

基礎部分のみの調査をおこなった西側部分についてはピットが数基検出されている。一部は2次調査で確認された弥生時代の遺物が出土した建物とほぼ同位置にあることから、建物に伴う柱穴の可能性がある。

以上のことから、縄文時代の遺構がないことや、弥生時代の建物が確認されたことは、2次調査の成果を追認するものとなったが、古代の建物が検出されたことは新たな発見と言える。このことは、1次調査で発見されていた古代の集落範囲が少なくとも3次調査区まで広がっていることを示しているが、その密度は1次調査区程高くはない。2次調査でも指摘されていた大山川の沖積微高地（1次調査区一帯）に集落が集中し、河川側に向かって希薄となっていく状況は古代まで継続していたものと推測される。（上原）

遺跡位置図（1/5,000）

空中写真（南から）

調査区東側発掘状況（西から）

1号竪穴建物完堀状況（南から）

３. 一丁田遺跡３次　　- 宅地造成に伴う発掘調査査 -

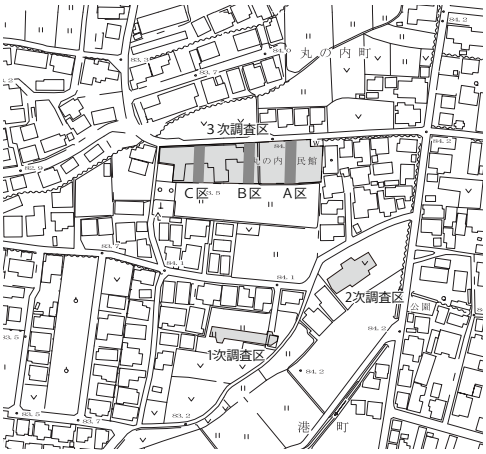
一丁田遺跡は、日田盆地北部を西流する花月川とその支流の城内川に挟まれた沖積地に広がり、今回の調査地は、花月川と城内川との中間付近の標高約 82 ～ 83 mを測る。

調査は、３ヶ所の位置指定道路部分（東よりＡ・Ｂ・Ｃ区）を対象に実施した。その結果、現地表面より約 30 ㎝～ １ｍ下において、竪穴建物 11 軒（Ａ区７軒、Ｂ区４軒）、土坑 11 基（Ａ区３基、Ｂ区８基）、溝状遺構３条と、ピットが確認された。

これらの遺構の時期は、主に竪穴建物から出土した遺物により、弥生時代後期と古墳時代中期の２時期に分かれると考えられる。土坑や溝からは明確に時期が特定できる遺物は出土していないものの、竪穴建物と大きく変わらないものと思われる。なお、Ｂ区の１号竪穴建物については、南壁際に焼土及び袖や支脚の抜き取り痕とみられるピットが検出されたことからカマドと判断した。

Ｃ区では明確な遺構は確認されず、北側（花月川）へ向かって傾斜する落ち込みが確認され、土層観察の結果や周辺地形の状況から自然流路と判断した。

本遺跡の１次調査では弥生時代後期～古墳時代初頭及び後期、２次調査では古墳時代中期～後期までの遺構が確認されているが、これらの集落が同一箇所で長期間継続的に営まれた可能性は低い。これについては、２次調査の報告において、弥生時代後期～古墳時代前期までに河川の氾濫を受けた後、中期以降に地形が安定し、それに合わせて居住域を移動させていることが指摘されている。この指摘と、古墳時代中期の竪穴建物の存在や自然流路の確認状況から、今回調査地付近は古墳時代中期以降に地形が安定した場所に当たっており、微高地と自然流路の境界付近に位置するものと考えられる。（若杉）



遺跡位置図（1/5,000）

調査区垂直写真（上が北）

竪穴建物（弥生）発掘状況（南西から）

竪穴建物カマド発掘状況（北西から）

竪穴建物（弥生）遺物出土状況

竪穴建物（古墳）遺物出土状況

4．柳ノ本遺跡２次　－福祉施設建築工事に伴う発掘調査－

柳ノ本遺跡２次調査区は日田盆地東部、標高 90m 前後の三隈川右岸沖積地の微高地に所在し、弥生後期～古墳時代の墳墓群が検出された１次調査区の東側に隣接する。

調査は対象地 504 ㎡に対して遺構検出を行い、そのうち、基礎などによって遺跡が破壊される可能性のある 285 ㎡に対しては掘下げを実施した。

調査の結果、墳墓群（石棺墓２基、石蓋土坑墓３基、土坑墓１基、小児用甕棺１基）、竪穴建物 19 軒、土坑３基、ピットが複数検出された。

墳墓群は、１次調査で確認された南東～北西にかけて延びる墓列上に石棺墓、石蓋土坑墓、小児用甕棺が各１基、北側に少し離れた位置で東西方向の石棺墓１基、石蓋土坑墓２基のグループが検出された。更に調査区北端でも石蓋土坑墓が１基検出された。小児用甕棺からは鉄鏃が１点出土し、石棺墓２基と石蓋土坑墓１基、小児用甕棺内部には赤色顔料が塗られていた。また、石蓋土坑墓の一部には頭部にのみ石壁が配置されたものがあり、石棺を意識的に簡略化した可能性が考えられる[註)]。

竪穴建物は、調査区の東側にかけて多く検出され、一部では複数軒切り合って検出された。

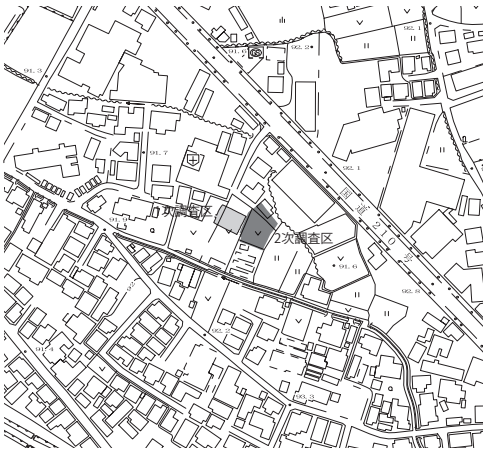
東西方向を向く墳墓群付近で検出された土坑からは、多量の土器が出土しており、墳墓群に比較的近い位置にあることから祭祀土坑の可能性が考えられる。

遺構の時期は、墳墓群が１次調査との関連などから弥生時代後期～古墳時代中頃、竪穴建物はその形状や遺物などから弥生時代中期～古代と想定された。墳墓群に伴うと考えられる土坑については弥生時代後期～古墳時代頃と考えられる。

１次調査で確認された墳墓群の東端が確認でき、その範囲が北側にも広がり、墳墓群が営まれる以前の弥生時代中期から長期間、この一帯には集落が営まれ続けていたことを確認することができた。また、竪穴建物の多くは、墳墓群とは切り合い関係に無いことから、意識的に集落を墓域と区別していた可能性が考えられる。

今後は、新たに発見された弥生～古代の集落や墳墓群の広がりを考慮しつつ、周辺の開発等について注意していく必要がある。（上原）

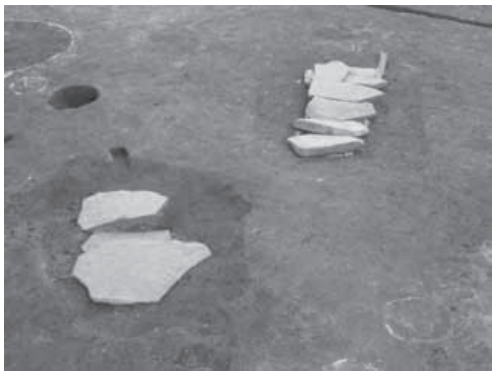
註）別府大学 下村智教授のご教授による。



遺跡位置図（1/5,000）

柳ノ本遺跡全体写真南側

柳ノ本遺跡全体写真北側


石蓋土坑墓・石棺墓検出状況

5．日田条里遺跡飛矢地区２次　　- 店舗建設に伴う発掘調査 -

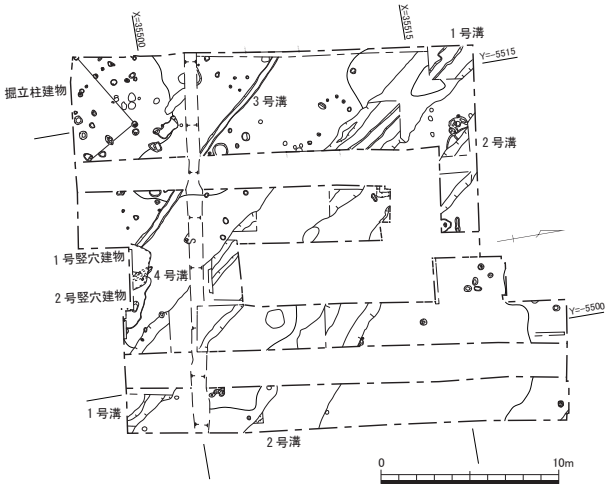
遺跡は、日田盆地東部、標高約 89 mの三隈川右岸沖積地に所在する。東方には大原八幡宮（市指定有形文化財）を擁する大波羅丘陵があり、それから三隈川に向かってのびる麓に立地している。

調査は、建物建設部分を対象として遺構検出を行い、独立基礎により遺構が損なわれる部分については完掘を行った。その結果、竪穴建物２軒、掘立柱建物１棟、溝４条、土坑３基、ピットが確認され、これらの中心となるのは溝である。

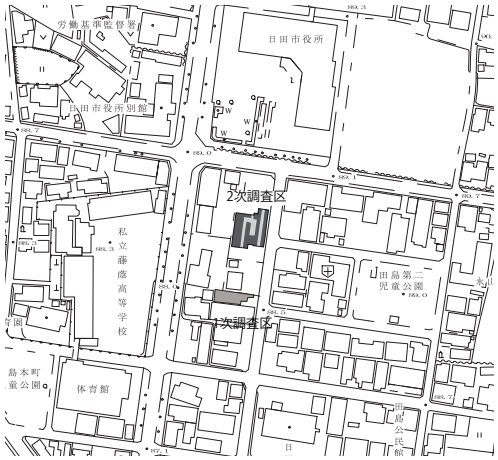
４条確認された溝のうち３条は、調査区を南東から北西に横断し、ほぼ並行している。特に１・２号溝は検出面での幅が３m前後、深さは約１～1.8 mの断面Ｕ字または逆台形をなすもので、溝の下層部からは遺物の出土がなかったものの、上層部では集中的に遺物が出土した。遺物量は溝の規模に比べると比較的少ないものの、土師器を主体として弥生土器や須恵器が見られ、埋没時期は８世紀前～中期頃と考えられる。対して３号溝は検出面での幅が約 0.5 mとかなり小さく、遺物はほとんど出土しなかったが、1･2 号溝と並行していることから、同時期のものと考えられる。

竪穴建物と掘立柱建物はいずれも調査区南端で確認され、調査区外へ続く。なかでも掘立柱建物は柱穴からの遺物出土が皆無に近いものの、建物の軸方向が１号溝と並行していることから、同時期の可能性がある。

付近には古墳時代～古代の竪穴建物や掘立柱建物、溝が見つかった１次調査地や、北東約 500 mで奈良時代（８世紀中頃～後半）の公的施設と目される大型柱穴列をはじめ庇付建物や瓦・墨書土器などが確認された大波羅遺跡（1・5 次）があり、これらの遺跡との関連を検討する必要がある。１次調査地で確認された遺跡の内容はごく一般的な集落であり、今回の内容とは一線を画すものである。特に並行する大きな溝は、その規模や遺物の少なさから一般的な集落に伴う溝とは考え難く、何らかの公的施設の一部であるとすれば大波羅遺跡との関わりが強いと想定される。（行時）



遺構配置図（1/400）



遺跡位置図（1/5,000）

１～３号溝（北から）

１号溝断面（南東から）

２号溝断面（南東から）

6．上井手遺跡４次　－宅地造成に伴う発掘調査－

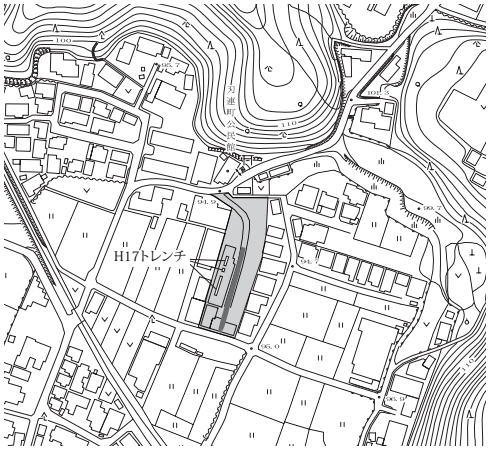
上井手遺跡は、日田盆地東部の会所山丘陵の南東側と中野川との間の沖積地に広がる。遺跡の北側、会所山丘陵の間の独立丘陵上には、装飾古墳を有し国指定史跡である法恩寺山古墳群がある。また、今回の調査区の西約 10 mの位置では、平成 17 年度に予備調査を実施しており、土偶をはじめとした多くの遺物とともに流路が確認されている。

調査は、位置指定道路部分約 79 mのうち、工事による掘削の深さから遺跡が損なわれる可能性のある約 68 mを対象に実施した。なお、調査区内を南側から 10 m毎にＡ～Ｇ区に分けた。

調査の結果、現地表面より約 80 ～ 90 ㎝下において、縄文時代後期～晩期にかけてのコンテナケース 58 箱にも及ぶ大量の縄文土器や石器などが出土した。これらの遺物を含む層は、厚い部分で約 30 ㎝を測る。遺物が出土した範囲については、前回の予備調査の結果も踏まえ、自然流路と判断し、その上端の一部を確認することができた。

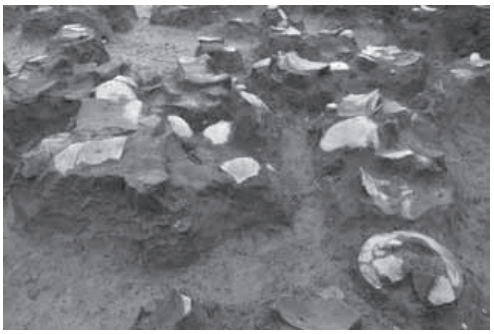
なお、遺物の出土量は南側（Ａ区側）ほど多く、北側（Ｇ区側）に向かうほど少なくなること、また摩耗を受けていない土器が多いこと、さらに台石や石皿など大型の石器が比較的近接して出土している状況などから、これらの遺物は単なる流れ込みではなく、人の活動の痕跡として捉えられる要素もあり、建物などの存在も想定されたが、検出状況では確認することが出来なかった。

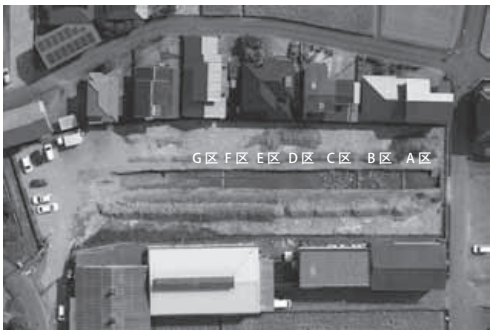
しかし、今回の調査結果により、調査地及びその周辺では、遺物量から想定すると縄文時代の後・晩期の大規模集落が存在した可能性が高いと考えられる。（若杉）



遺跡位置図（1/5,000）

調査地周辺空中写真（南西から）


Ａ区遺物出土状況



調査区垂直写真（上が東）

Ｃ区遺物出土状況

Ｄ区遺物出土状況

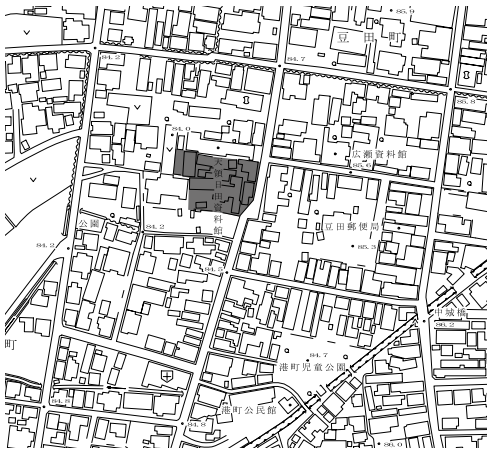
7．城下町遺跡（重要文化財草野家住宅）　－保存修理工事に伴う発掘調査－

城下町遺跡は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている豆田町や温泉街の隈町を中心とする遺跡である。今回の調査は、豆田町に所在する国の重要文化財に指定されている草野家住宅の保存修理工事に伴い実施した。

調査は平成 27 ～ 28 年の修理対象である隠宅蔵･家具蔵の解体前に、工事用の仮設覆屋の基礎を設置する箇所のうち、地下遺構を損なう恐れがある部分で実施した。北側の廊下部分については、実測・写真撮影を行い、仮設基礎により破損の恐れのある便所甕の取り上げ（修理完了後に再設置予定）、南東側の家具蔵については、実測・写真撮影を行った。

便所甕は咸宜園跡などで確認されている近世後期のものに類似しており、家具蔵の基礎は切り石や河原石を用いている点や、水路護岸の玉石積の上にヒカリツケを施した切り石を据える点など、これまで豆田町の建物基礎で確認されている構造と同様の特徴を有することが判明した。

今後は平成 29 年まで継続する解体工事に伴い、地下遺構に影響が及ぶと判断される場合は、随時、調査を実施していく予定である。（若杉）

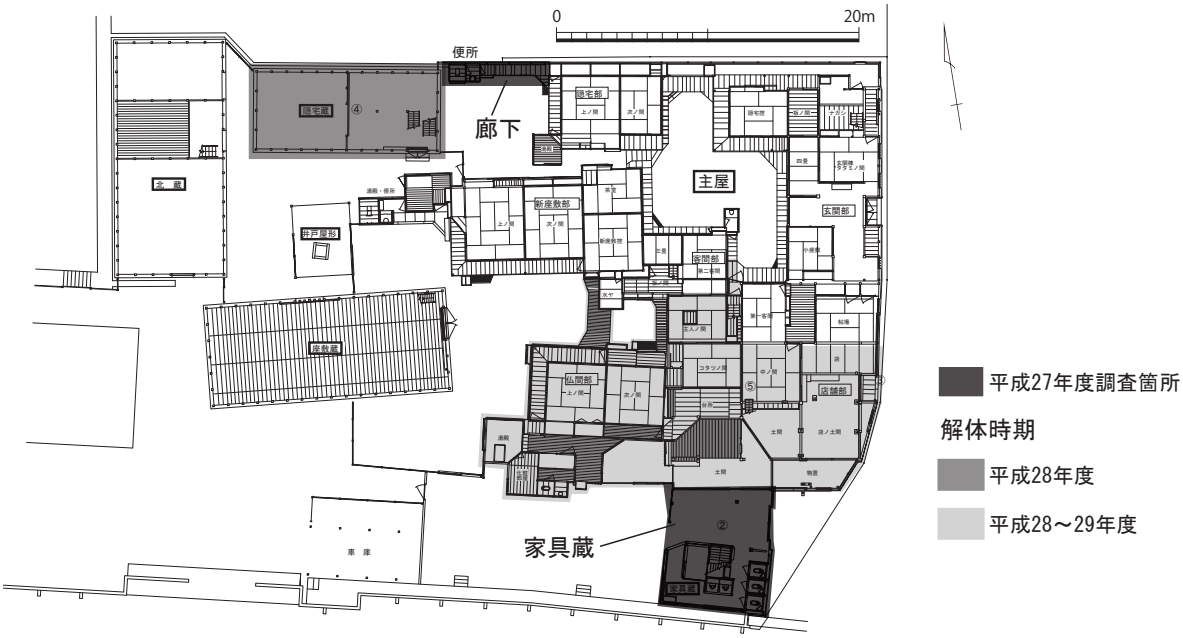


遺跡位置図（1/5,000）

家具蔵基礎全体写真（北東より）

北側廊下部水路便甕完掘（西より）

家具蔵南側及び水路（北東より）



草野家住宅調査地点配置図（1/500）

Ⅱ　平成 27 年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

（1）埋蔵文化財センター運営事業

平成 15 年度より普及啓発事業を中心とした埋蔵文化財センター運営事業を継続して行っており、今年度は発掘調査速報展及び市民を対象とした考古学講座、体験教室などを実施した。なお、センター移転に伴い、11 月 16 日から展示室は休館としたため、全体的な入館者数は大幅に減少している。

1. 平成 26 年度埋蔵文化財発掘調査速報展（7 月 21 日～ 8 月 28 日）

平成 26 年度に市内で行った発掘調査の成果を市民にいち早く公開するため遺物・写真パネルの展示を行い、市外からも含めて 89 人の来館者があった。

速報展展示見学風景

○埋蔵文化財センター見学者数

月	見学者数	団体	個人	備考
4月	4		4	
5月	73	70	3	
6月	13		13	
7月	41		41	速報展（7/14 ～ 8/29）見学者数名 89 名
8月	51		51	
9月	4		4	
10月	2		2	
11月	81	81	0	
12月	休館			
1月	休館			
2月	休館			
3月	休館			
計	269	151	118	

【主な来訪団体】
桂林小学校（54 人 / 5 月）
いつま小学校（16 人 / 5 月）
南小国史跡探訪（13 人 /11 月）
三芳小学校（55 人 /11 月）

常設展示見学風景

2. 考古学講座「タイムトリップひた Vol.13」

当市発行の「日田市の歴史と文化財」をテキストとして、日田市の歴史全般の解説を行った歴史講座のほか、「考古学」や「埋蔵文化財」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうために「近隣の歴史と文化を知ろう」をテーマに市外から講師を招き、全 5 回の講座を実施した。

月日	回数	内容	講師	受講数
0705	歴史講座	「『日田市の歴史と文化財』解説」	別府大学名誉教授　後藤　宗俊氏	44
0720	第 1 講	「豊前国―中津の歴史と古代の郡衙」	中津市　高崎　章子氏	35
0817	第 2 講	「筑後国―久留米の歴史と古代の国府」	久留米市　神保　公久氏	43
0921	第 3 講	「筑前国―朝倉の歴史と史跡」	朝倉市　乙藤　慎　氏	42
1019	第 4 講	「筑前国・筑後国」（田主丸大塚・筑後国府、平塚川添遺跡・杷木神籠石）バスツアー	朝倉・久留米市職員	45
1116	第 5 講	「宇佐風土記の丘の史跡と博物館」バスツアー	大分県立博物館　後藤　晃一氏	35

歴史講座風景

第 4 講バスツアー風景（平塚川添遺跡）

第 5 講風景（大分県立歴史博物館）

第 5 講バスツアー風景（鶴見古墳）

3. 体験教室

楽しみながら先人の知恵や技に触れ、埋蔵文化財についての理解を深めてもらうための機会を提供する目的から、「火熾し体験・整理作業見学・展示見学・考古の話」などの体験メニューを各団体からの申込みにより実施した。また、速報展期間に併せて勾玉づくり教室を開催した。

月日	団体名	内容	場所	参加人数
0516	桂林小学校	考古の話・展示見学	埋蔵文化財センター	54
0520	いつま小学校	考古の話・展示見学・宇土古墳見学	埋蔵文化財センター・宇土古墳	16
0603	五和公民館	現地見学（ガランドヤ古墳）	ガランドヤ古墳	9
0626	三芳小学校	現地見学（法恩寺山古墳群）	法恩寺山古墳群	57
0802	勾玉つくり教室	勾玉つくり	埋蔵文化財センター	30
1113	南小国町史跡探訪ｳｫｰｷﾝｸﾞ	展示見学	埋蔵文化財センター	26
1116	三芳小学校	展示見学・火おこし	埋蔵文化財センター	55
0113	若宮公民館	火おこし	若宮小学校	25
0212	三芳小学校	現地見学（法恩寺山古墳群）	法恩寺山古墳群	56

勾玉つくり教室

五和公民館（ガランドヤ古墳）

いつま小学校（宇土古墳）

三芳小学校（法恩寺山古墳群）

（２）普及啓発事業

遺跡の調査・整備内容を広く市民に公開するため、講師の派遣、報告調査報告書等の刊行物の作成などを行った。

1. 現地説明会・体験会

ボランティアによる史跡小迫辻原遺跡草刈り

開催日：平成 27 年 11 月 20 日

場　所：小迫辻原遺跡

参加者：4 名

内　容：史跡の維持管理として草刈りボランティアの募集を行った。さらに、地域にある史跡・文化財に触れ、歴史についての関心を深めるため、史跡についての簡単な解説を行った。

2. 講師派遣・依頼

講師の依頼件数は 11 件で、考古学講座に伴う依頼は 6 件、派遣は 5 件であった。

月日	区分	派遣・依頼先	内容	講師	参加数
0525	派遣	やまくにの歴史と文化を学ぶ会	永山布政所と永山城址について（現地見学）	渡邉・諫山	15
0705	依頼	後藤　宗俊	歴史講座「『日田市の歴史と文化財』解説」	別府大学名誉教授　後藤　宗俊氏	44
0720	派遣	高瀬公民館	高瀬の歴史を学ぶ	行時	20
0720	依頼	中津市	考古学講座「豊前国―中津の歴史と古代の郡衙」	中津市　高崎　章子氏	35
0817	依頼	久留米市	考古学講座「筑後国―久留米の歴史と古代の国府」	久留米市　神保　公久氏	43
0921	依頼	朝倉市	考古学講座「筑前国―朝倉の歴史と史跡」	朝倉市　乙藤　慎氏	42
1019	依頼	朝倉・久留米市	考古学講座「筑前国・筑後国」 （田主丸大塚・筑後国府、平塚川添遺跡・杷木神籠石）バスツアー	久留米市　神保公久 朝倉市　乙藤慎氏	45
1024	派遣	三芳公民館・元宮神社	三芳歴史探険	古賀・行時	27
1116	依頼	大分県立博物館	考古学講座「宇佐風土記の丘の史跡と博物館」バスツアー	大分県立博物館　後藤　晃一氏	35
1127	派遣	高瀬公民館	高瀬の歴史と高瀬地区の文化財見学	若杉・上原・諫山	44
1219	派遣	日田考古学同好会	2015 年度の埋蔵文化財調査	渡邉	23

やまくにの歴史と文化を学ぶ会

高瀬公民館

三芳公民館

三芳公民館

高瀬公民館

考古学同好会

3. 刊行物

遺跡の調査報告書を 3 冊と平成 26 年度の埋蔵文化財調査年報を作成した。また、「史跡咸宜園跡」の保存整備報告書を作成した。

	書名	巻次	体裁	総頁	内容
1	平成 26 年度 (2014 年度) 日田市埋蔵文化財年報	-	A4	24	平成 26 年度に日田市教育委員会がおこなった埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事業、埋蔵文化財普及及び啓発事業等を所収。
2	銭渕遺跡	122	A4	26	宅地造成に伴う埋蔵文化財の調査成果。条里制成立以前、7 世紀後半頃の官衙的な性格の建物等を所収。
3	会所宮遺跡 2 次	123	A4	20	店舗建設に伴う埋蔵文化財の調査成果。弥生時代の円形竪穴建物や溝等を所収。
4	城下町遺跡	124	A4	58	防災施設設備事業に伴う埋蔵文化財の調査成果。18 世紀後半頃、町年寄の居宅や豆田町成立以前の中世の遺物等を所収。
5	史跡咸宜園跡保存整備事業報告書	-	A4	168	平成 15 年度から平成 26 年度にかけて実施された史跡咸宜園跡保存事業（東家側）に関する整備とそれに伴う発掘調査成果を所収。

（3）埋蔵文化財の保存整備

1. 重要文化財大分県吹上遺跡出土品の保存修理

事業は、紀元前 2 世紀から 1 世紀頃にあたる弥生時代中期後半の日田地方の有力者の墳墓群の副葬品である重要文化財「大分県吹上遺跡出土品（平成 22 年 6 月 29 日指定）」577 点の修理を 8 年に亘って計画的に行うものである。平成 23 ～ 26 年度に引き続き、平成 27 年度は 2 号甕棺墓上甕、3 号甕棺墓上下甕、7 号甕棺の計 4 点の修理作業を実施した。

2 号甕棺墓上甕

2 号甕棺墓上甕と 3 号甕棺墓上下甕は器面の風化が著しく、剥落や軟弱化が見られるなど不安定な状態であった。また、7 号甕棺は修理が完了しているものの、状態が安定しておらず、保管と展示などが一体的に行える収納方法が脆弱で不安定な状態であった。そこで、国庫補助事業及び公益財団法人住友財団の助成を受けて修理作

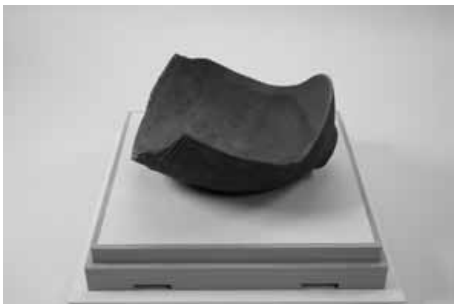
3 号甕棺墓上甕

3 号甕棺墓下甕

業を行った。作業には公益財団法人元興寺文化財研究所があたった。

2 号甕棺墓上甕と 3 号甕棺墓上下甕は解体してクリーニングを行い、アクリル樹脂溶液を含浸強化し、復元を行い、収納保管や展示までが一連に行えるようにした。7 号甕棺は専用の桐箱収納保管箱を作成した。

以上の作業の結果、従来の不安定な状態は大幅に改善された。今後は安定化の状態を見ながら、展示等への活用を図っていく予定である。



7 号甕棺墓

2. 史跡咸宜園跡の保存整備

約 5 千人の門下生を輩出した私塾咸宜園跡で平成 21 年度より実施してきた東塾範囲の整備報告書を作成し、西塾用地の公有化交渉を実施した。なお公有化に関しては平成 28 年度に繰越を行っている。

3. 史跡廣瀬淡窓旧宅及び墓の保存整備

文化 14 年（1817）に私塾咸宜園を開塾し、全国から約 5 千人の門下生を輩出した教育者廣瀬淡窓の生家である旧宅の修理基本計画策定のための建物調査や耐震診断を実施した。なお事業は所有者が実施した。

4. 史跡ガランドヤ古墳の保存整備

国指定史跡ガランドヤ古墳 1 号墳の装飾を保護するため、内部環境の安定化の調査を行い、環境制御の運用検討を行った。

（4）新指定の文化財（埋蔵文化財関係）

1. 県史跡『永山城跡』（日田市丸山 2 丁目 1 番ほか）

永山城跡は花月川右岸の比高約 30 mを測る阿蘇溶結凝灰岩の独立丘陵、通称「月隈山」に存在する平山城である。現在は月隈山全体が都市公園として利用されており、市民の憩いの場であるとともに豆田町観光の起点としても大きな役割を果たしている。

慶長 6 年（1601）に小川光氏により「丸山城」として築城され、譜代大名・石川忠総による日田藩時代（このときに「丸山城」から「永山城」に改称）を経て、大名領・大名預地から代官支配地へ切り替えられた際に城の南側に日田御役所（永山布政所）が設置されると、城は政治的機能を失って廃城となった。廃城の時期は明らかでないが、日田御役所の設置が寛永 16 年（1639）であること、正保年間（1644 ～ 1648）成立とされる絵図や文献では「長山古城」「廃城」などの記述がみられることから、このころに実用的な城としての終焉を迎えたもの考えられる。なお廃城後も、寛文 5 年（1665）に代官改易に伴い熊本藩預地となった際に古城番が置かれ、備えを厳重化するために堀が拡張（「肥後殿堀」）されるなど、数度にわたる改修の手が及んでいる。

豆田町から見た永山城跡

公園整備を機に平成 20 ～ 24 年度に実施した予備調査・確認調査では、本丸跡については礎石建物跡の発見・大手門や搦手の構造の一部解明、石垣については数回にわたる改修の痕跡・築城時の石垣の存在・破城痕跡な

永山城跡　本丸石垣（西から）

ど、北側の堀では「肥後殿堀」を彷彿とさせる石垣改修の痕跡、またほかにも随所で曲輪や石垣などの城郭の施設が比較的良好な状態で残存していることなどが明らかとなり、絵図や文献と一致する内容も確認された。発掘調査による出土遺物は少量ではあるが、本丸付近からは大手門に葺かれていたと思われる瓦のほか、概ね築城～廃城の期間にあたる 16 世紀末～ 17 世紀初頭・中頃の国産・輸入陶磁器類が出土している。また石垣については、素材として玉石を使用している点が他の城郭の石垣と一線を画する最大の特徴となっている。玉石を構造物の素材とする点については、永山城の城下町として整備された豆田町に現存する江戸期の建物の基礎構造にも多く見られ、日田の建築技法の特徴が表れているといえる。

なお今回の指定範囲は、堀跡の一部および学校用地を除いた部分（32,335.32 ㎡）で、平成 28 年 2 月 23 日に県史跡に指定された。

2. 市史跡『台神社前旧往還石畳道』　（日田市天瀬町女子畑）

台神社前旧往還石畳道は天瀬町女子畑に残る石畳道で、『豊後国誌』によれば、日田永山布政所と竹田岡城を結ぶ岡城路の一部である。現在では石畳の両側はコンクリートで覆われているものの、台神社の前に幅員 1.3 m、延長約 41 mが残っており、市道宮ノ前線の一部となっている。平成 8 年 11 月 1 日付で文化庁「歴史の道百選」に選定されている。

石畳道（西より）

石畳の敷設年代については、西国郡代羽倉権九郎（寛政 5 ～文化 6 年（1793 ～ 1809））の時に女子畑村から出口村までの間の石畳の整備が行われたと推定される（『造領記』）。

廣瀬淡窓が寛政 7 年（1795）に師を慕って佐伯に旅行した際にこの石畳を通ったことが淡窓の日記『懐旧楼筆記』に記されている。また淡窓の門に学ぶ者や淡窓を訪ねる文人墨客も多く、頼山陽も岡藩の田能村竹田を訪ねた際にこの石畳を通って淡窓のもとへ訪れている。そのほか、伊能忠敬も測量の際にこの石畳を通ったことが『測量日誌』に記されている。

昭和 51 年 9 月に「台神社の森と旧往還石畳道」として市天然記念物に指定されていた一部範囲が指定区分として適切でないため、石畳道を旧指定から切り離し、平成 28 年 3 月 25 日改めて市史跡に指定されたものである。

（5）埋蔵文化財センターの移転

日田市では、市内より出土した埋蔵文化財を整理・保管・展示する施設として平成 8 年 6 月に市役所別館 2 階に日田市埋蔵文化財センターを開設し、平成 14 年 4 月には分散していたセンター機能・事務機能・収蔵庫を一元化して事務の軽減と出土遺物の集中管理を目的として日田市南友田町に移転を行った。この埋蔵文化財センターは旧日本道路公団所有の鉄骨カラー鉄板葺建物を改修した施設であったが、移転から 14 年が経過するなかで老朽化が著しいことなどから、日田市大字友田の萩尾公園内に所在する日田市生涯学習交流センターの建物を改修し、倉庫を新規建設して移転することとなった。この移転では整理・保管・普及啓発にかかる部分を新埋蔵文化財センター、事務・調査等にかかる部分については文化財保護課執務室にて担うように分担して実施することとし、文化財保護課執務室は教育庁舎（市役所別館）2 階に移転した。

埋蔵文化財センター（正面）

ホール

新埋蔵文化財センターは、生涯学習交流センターの機能が生涯学習交流室

に集約されて規模が縮小されるため、残った施設を改修して利用しており、これらの部屋の分布は下図の通りである。主なものを紹介すると講座等も可能で埋没樹木を設置したホール、出土遺物の整理を行う整理作業室、市内の歴史を通史的に見学可能な常設展示室、新たに設置した企画展示室などとなっている。

【日田市埋蔵文化財センター】

展示室の開館時間；9：00 ～ 16：00　入館料；無料

休館日；土・日・祝日・年末年始

（特別展等の開催時には変更になる場合あり）

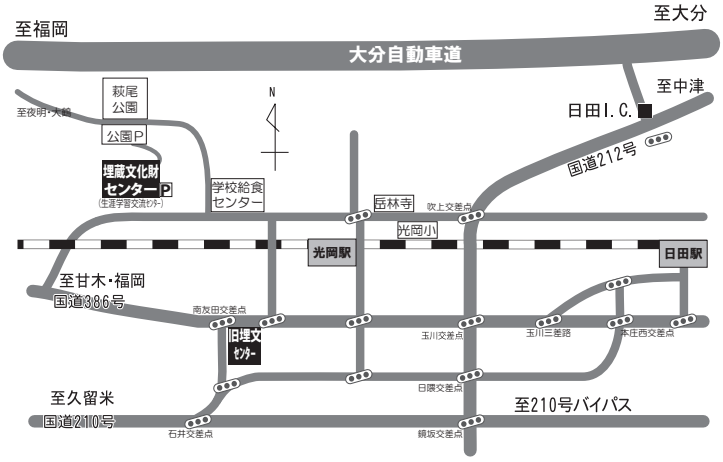
構造；鉄骨平屋建

面積；927 ㎡（うち埋文センター占有分 693.4 ㎡、展示室 103.7 ㎡（常設 71.3、企画 32.4 ㎡））

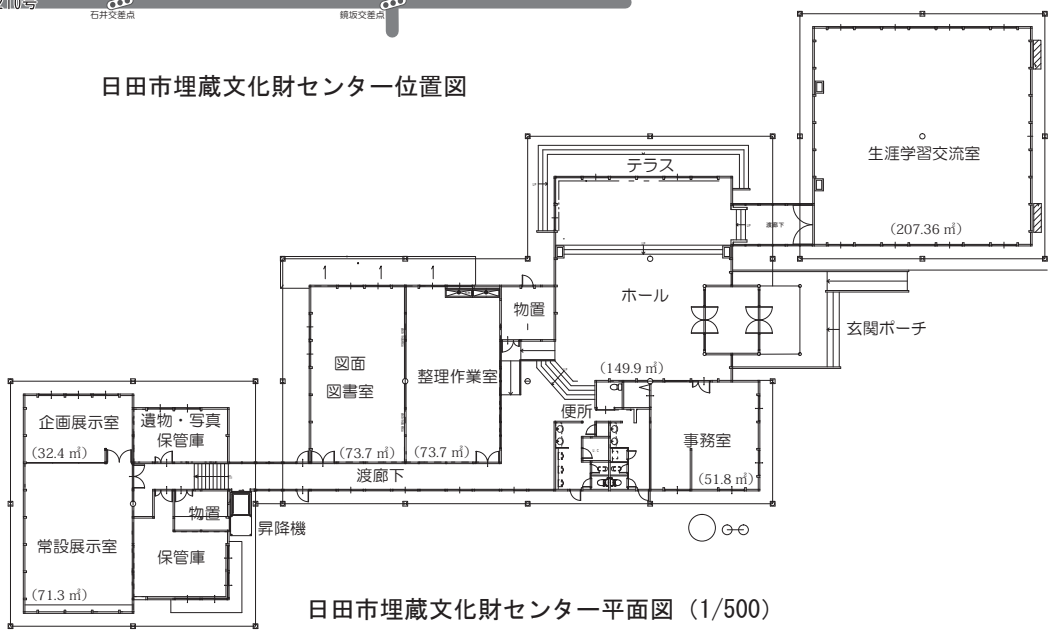
整理作業室

常設展示室

企画展示室



日田市埋蔵文化財センター位置図



日田市埋蔵文化財センター平面図（1/500）

（６）その他（資料掲載、貸出・閲覧・受領図書）

埋蔵文化財関連資料の掲載依頼は 17 件、貸出は 6 件で資料の閲覧は 4 件であった。

1. 掲載申請

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0402	申請	地層断面と模式図（写真） 小野川への阿蘇４火砕流の流れ (写真)	公財 阿蘇火山博物館	常設展示での展示説明に利用する為
0408	申請	「重要文化的景観『小鹿田の里』」(池ノ鶴地区棚田景観）（写真）	（個人）木下信二	イベントで紹介する素材として使用する為
0420	申請	西有田赤ハゲ遺跡　管玉（実測図・写真） 求来里遺跡　管玉（実測図・写真） 町ノ坪遺跡　勾玉（写真）	熊本大学埋蔵文化財センター	学術書に掲載する為
0430	申請	小迫辻原遺跡（写真）	株式会社 G.B.	出版本掲載の為
0512	申請	平成 26 年度刊行埋蔵文化財調査報告書、平成 26 年度日田市埋蔵文化財年報　（DVD）	日田インターネット協議会	ホームページに掲載する為
0518	申請	小迫辻原遺跡（写真）	有限会社 三猿者	出版本掲載の為
0519	申請	中川原遺跡（写真）	老松水利組合	パンフレット掲載の為
0713	申請	吹上遺跡６次 1 号経塚、経塚と埋納遺物（写真）、経塚の底（写真）、遺構変遷図（図面データ）	福岡市博物館	企画展の写真パネルに使用する為
0710	申請	永山城跡空中写真、高石垣、出土遺物（写真）	杵築市教育委員会	パンフレットに掲載する為
0819	申請	長福寺本堂、桂林荘公園、国史跡 咸宜園跡、成章舎跡、南家土蔵跡、廣瀬淡窓旧宅、廣瀬淡窓と塾主の墓、長福寺学寮の礎石、廣瀬淡窓の墓（長生園）、廣瀬淡窓の石碑と拓影 （すべて写真）	株式会社 思文閣出版	出版本に掲載する為
1006	申請	大宮司遺跡出土遺物（写真）	日田市立博物館長	映像資料として利用する為
1019	申請	亀石山遺跡細石刃、ガランドヤ 1 号墳奥壁画、穴観音古墳前室右側壁画、穴観音古墳前室左側壁画、祇園原遺跡空撮、小迫辻原遺跡３つの豪族居館空中写真、大波羅遺跡官衙建物空中写真、天満古墳横から見た写真、慈眼山仏像収蔵庫十一面観音像、大肥中村遺跡 C 区空中写真（すべて写真）	日田市立博物館長	常設展示でのパネルに使用する為
1201	申請	ガランドヤ古墳 1 号墳断面図（データ）	（個人）澤田栞伊	学位論文に掲載する為
1222	申請	老松様の的ほがし祭・麦餅搗祭、老松様の餅つき祭（DVD）	日田市雇用創造協議会	チラシ・パンフレットに使用する為
0107	申請	老松様の的ほがし祭・麦餅搗祭、老松様の餅つき祭（写真）	日田市雇用創造協議会	チラシ・パンフレットに使用する為
0201	申請	小迫辻原遺跡（写真）	株式会社 洋泉社	出版本に掲載する為
0324	申請	吹上遺跡６次 4 号甕棺出土銅戈（写真）	株式会社 ランズ	出版本に掲載する為

2. 資料貸出

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0409	貸出	吹上遺跡６次　1 号甕棺、2 号甕棺銅戈、4 号甕棺銅剣・銅戈・勾玉・管玉・貝輪、5 号甕棺、5 号甕棺貝輪・勾玉、1 号木棺銅剣	大分県立歴史博物館	企画展示に使用する為
0416	貸出	宇土遺跡出土投弾	大分県立歴史博物館	常設展示に使用する為
0710	貸出	永山城跡出土遺物	杵築市教育委員会	企画展示に使用する為
1009	貸出	石庖丁レプリカ 4 点、貫頭衣 4 着	（個人）石松愛明	古代米稲刈りで使用の為
0120	貸出	火熾し道具 4 セット	五和公民館	公民館主催のイベントで使用する為
0324	貸出	宇土遺跡出土投弾	大分県立歴史博物館	常設展示に使用する為

3. 資料閲覧

期間	資料名	内容	申請者	目的
0728	金田遺跡出土朝鮮半島関連資料	熟覧、写真撮影	大阪歴史博物館 寺井 誠	調査研究の為
0821	法恩寺山 4 号墳出土鏡、ガランドヤ 2 号墳出土鏡 尾漕 2 号墳出土太刀	熟覧、写真撮影	宮内庁庁書陵部陵墓課陵墓調査室　加藤 一郎	調査研究の為
1102	法恩寺山 4 号墳出土鏡、ガランドヤ 2 号墳出土鏡	熟覧、写真撮影、断面実測	九州大学大学院人文科学研究院　辻田 淳一郎	調査研究の為
0125	荻鶴遺跡出土鉄床石	熟覧、写真撮影	（公財）愛知県埋蔵文化財センター　鈴木 恵介	調査研究の為

4. 図書の収蔵

①各団体から寄贈を受けた図書

総数 592 冊。（内訳：文化財機関 15 冊、大学 46 冊、博物館 57 冊、都道府県教育委員会　74 冊、市町村教育委員会 375 冊、その他 25 冊）

②購入図書

総数 25 冊

Ⅲ　資料紹介

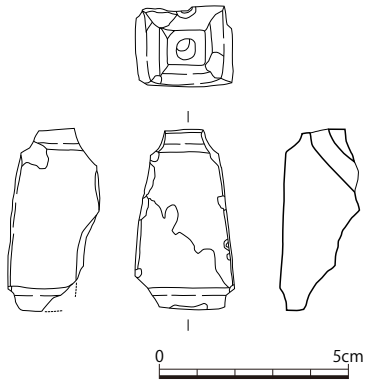
（１）長迫遺跡Ｃ地点の石製品

長迫遺跡Ｃ地点は、平成 10 年度に発掘調査、平成 26 年度に発掘調査報告書を刊行したが[註]、石製品について、掲載を失念したため、今回、報告するものである。

この石製品の出土遺構は不明である。石材は砂岩製で、寸法は、高さ 4.8 ㎝、上辺幅 1.0 ㎝、下辺幅 1.8 ㎝を測る。重さは 32.5 ｇであるが、背面下部の一部を欠損しており、本来の重さは不明である。上面中央から背面上半にかけて径 5 ㎜ほどの穿孔が施されており、紐を通すためのものと考えられる。表面は剥離している部分があるものの、元々の面は丁寧に研磨されている。本調査で確認された遺構などから 8 世紀の所産と判断される。

この石製品については、形状や穿孔を施している点から重り（錘）としての権承具と考えられる。日田市内での類例としては、上野第 1 遺跡より「豊馬豊馬」と刻まれた石製品が出土しており、これに次いで２例目となる。

註）　若杉竜太『長迫遺跡Ｃ地点』日田市埋蔵文化財調査報告書第 118 集　日田市教育委員会　2015



石製品実測図（1/2）

石製品写真（左－表、右－裏）